

株主のみなさまへ

No. 13
2008年12月

第30期
事業報告書

平成19年10月1日

▼
平成20年9月30日



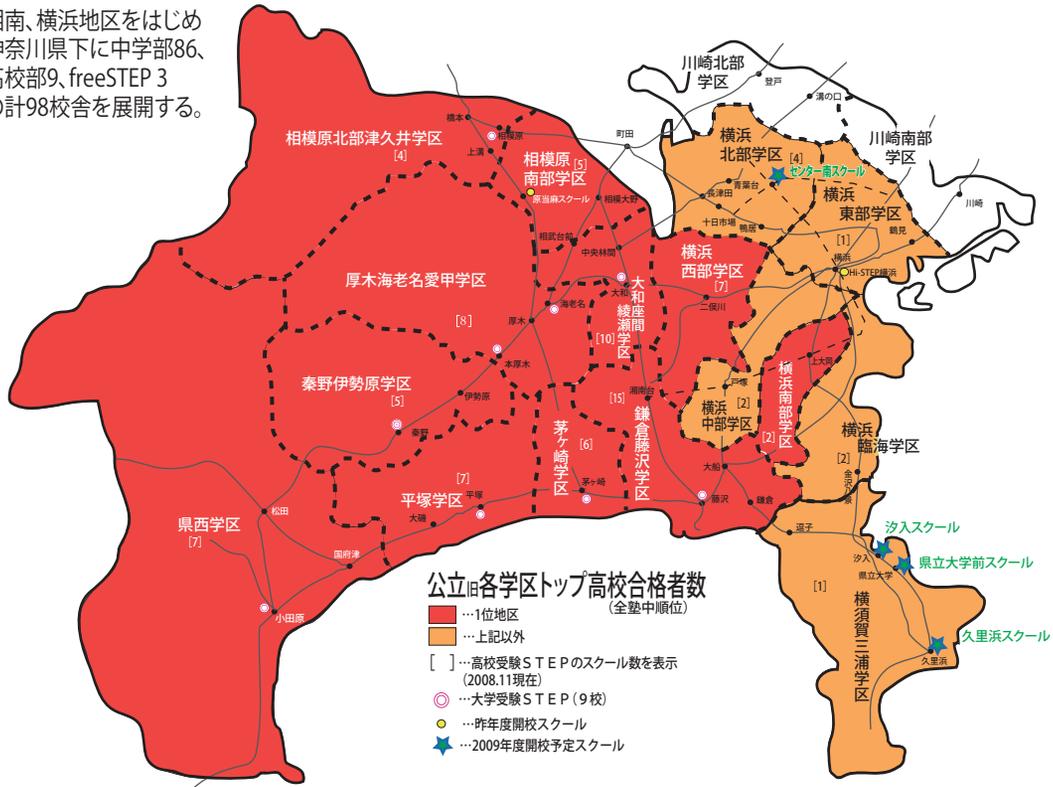
“子どもを元気にする塾”



CONTENTS/目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	4
STEP by STEP	5
業績の推移	6
損益計算書の要旨	7
貸借対照表の要旨	9
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式の状況	11
第31期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

湘南、横浜地区をはじめ
神奈川県下に中学部86、
高校部9、freeSTEP 3
の計98校舎を展開する。



公立旧各学区トップ高校合格者数
(全塾中順位)

- …1位地区
- …上記以外
- [] …高校受験STEPのスクール数を表示 (2008.11現在)
- ◎ …大学受験STEP (9校)
- …昨年度開校スクール
- ★ …2009年度開校予定スクール

鎌倉・藤沢学区
長後スクール
六合スクール
善行スクール
藤沢スクール
藤沢朝日スクール
藤沢中央スクール
ライフタウンスクール
ライフタウン北スクール
辻堂東スクール
大船スクール
湘南深沢スクール
湘南台スクール
用田スクール

茅ヶ崎学区
辻茅ヶ崎スクール
茅ヶ崎北スクール
茅ヶ崎東スクール
茅ヶ崎南スクール
平塚東スクール
平塚西スクール
平塚中央スクール
平塚南スクール
平塚南宮スクール
大磯スクール

横浜各学区
瀬谷スクール
三ツ境スクール
二俣川スクール
鶴ヶ峰スクール
寒台スクール
立場スクール
戸塚南台スクール
杉田スクール
弥生文庫スクール
十日市場スクール
鴨居スクール
中川スクール
センター南スクール
横須賀三浦学区
逗子スクール
県立大学前スクール
汐入スクール
久里浜スクール

厚木学区・大和学区
中央林間スクール
鶴間スクール
厚木スクール
厚木西スクール
厚木東スクール
愛川スクール
海老名スクール
海老名西スクール
さがみ野スクール
高座渋谷スクール
綾瀬スクール
綾瀬和スクール
大座間スクール
相武台スクール
南林間スクール

相模原南部学区
相模原北スクール
相模原南スクール
相模原大野スクール
橋本スクール
相模原南スクール
上溝スクール
東林間スクール
原当麻スクール
秦野伊勢原学区
伊勢原スクール
秦野スクール
洪沢スクール
東海大前スクール

県西学区
鴨宮スクール
小田原スクール
富水スクール
松田スクール
鶴岡北スクール
南足柄スクール
大学受験STEP
大学受験STEP藤沢校
大学受験STEP大和校
大学受験STEP茅ヶ崎校
大学受験STEP海老名校
大学受験STEP平塚校
大学受験STEP小田原校
大学受験STEP秦野校
大学受験STEP相模原校
大学受験STEP厚木校

Hi-STEP
Hi-STEP湘南スクール
Hi-STEP鎌倉スクール
Hi-STEP大和スクール
Hi-STEP二俣川スクール
Hi-STEP茅ヶ崎スクール
Hi-STEP海老名スクール
Hi-STEP横濱南スクール
Hi-STEP青葉台スクール
Hi-STEP小田原スクール
Hi-STEP秦野スクール
Hi-STEP中央林間スクール
Hi-STEP相模原スクール
Hi-STEP戸塚スクール
Hi-STEP横濱スクール

freeSTEP
freeSTEP藤沢
freeSTEP平塚
freeSTEP長後

★ 中学部 ★

東京学芸大附属高校に24名(うち外進生23名)合格
「学力向上進学重点校」10校の合格者合計772名でトップ
神奈川県立 旧18学区のうち11学区でトップ校No.1

高校入試合格実績 さらに躍進

★東京学芸大附属高校に24名合格(うち外進生23名) 外部募集枠86名の4分の1以上がステップ生

ステップ生の通学圏内での最難関校、国立東京学芸大学附属高校に、ステップから24名(うち外部進学生23名)が合格しました。学芸大附属高校の外部募集枠は86名ですから、定員の4分の1以上をステップ生が占める躍進をとげました。



国立東京学芸大附属高校合格発表風景
合格したステップの生徒たち

★神奈川県公立最難関の湘南高校に155名合格、 定員の約半数がステップからの合格者! ★湘南・横浜翠嵐・柏陽など「学力向上進学重点校」10校に合わせて772名合格!

神奈川県公立高校入試は、2005年度から学区撤廃や自校作成問題による独自入試がスタートし、入試実力勝負の色彩を濃くしています。今春(2008年度)入試では湘南高校、横浜翠嵐高校、柏陽高校、平塚江南高校、小田原高校、横須賀高校など10校が独自入試を実施しました。独自入試実施10校は県教委から「学力向上進学重点校」に指定されています。そのうち県内最難関レベルの湘南高校には一貫して合格者数No.1を継続していますが、今春もステップから募集定員の約半数の155名の合格者を出しています。また横浜南部に位置し、理系を中心に合格実績を伸ばし、今春の国公立大合格実績で県内公立1位となった柏陽高校にステップから89名が合格、同校には独自入試実施初年度から2年続けてトップを継続しています。

今春は「学力向上進学重点校(独自入試実施校)」の湘南高校(155名合格)、柏陽高校(89名合格)、平塚江南高校(150名合格)、小田原高校(108名合格)、鎌倉高校(145名合格)などでいずれも

合格者数全塾中トップを獲得するなど、「学力向上進学重点校」には合わせて772名が合格しました。これは全塾中、第1位の実績で、圧倒的なトップです。



県立湘南高校合格発表風景
合格したステップの生徒たち

★旧学区トップ校合格者数1,309名 昨年の1,212名合格からさらに伸長!

さらに今春の高校入試では、上記の独自入試実施校をはじめとして、公立高校旧18学区のうち11学区で塾別合格実績をNo.1とするとともに、ステップからの県内公立高校合格者のうち約42%がトップ校に合格するなど、昨年に引き続き県内他塾を圧倒する実績を残すことができました。トップ校合格者総数は昨年の1,212名からさらに伸びて1,309名となりました。これは全塾中、第1位の実績です。

★厚木高校151名合格、希望ヶ丘高校72名合格

湘南高校・横浜翠嵐高校と並ぶ神奈川県下の名門校・厚木高校にもステップから151名が合格し、他塾を圧倒してNo.1を継続。また横浜の名門・希望ヶ丘高校をはじめ茅ヶ崎北陵高校・相模原高校・相模大野高校・大和高校・秦野高校などの各高校でも全塾中トップを継続しています。

★難関私立・国立受験でHi-STEPも健闘

超難関の東京学芸大学附属高校に24名(外進生23名)が合格したほか、開成高校に8名が合格、慶應・早稲田の付属校に合わせて79名が合格(慶應系42名、早稲田系37名)しました。さらに難関の海城高校にも16名が合格しました。公立高校での躍進とともにHi-STEP各スクールを中心に最難関国立でも健闘しています。

中学部 来春、横須賀に進出、3スクールを開校 横浜北部にも新スクールを開校 授業ビデオ配信システム e-STEPがスタート

★中学部 今春、原当麻スクールを開校 ★来春、横須賀に初めて進出、3スクールを開校 横浜北部に新スクール開校

2008年春、中学部は相模原市に原当麻スクール(相模線沿線)を開校しました。また昨夏、横浜駅東口にHi-STEP横浜スクールを開校しましたが、これにより難関国私立合格実績の躍進にさらに弾みを付けています。また生徒数の増加に対応して、ハイステップ海老名スクールを移転、さらに横浜市の日市場スクールを駅近くに移転し拡充します。

来春は、横須賀市に初めて進出、県立大学前・汐入・久里浜の3スクールを開校し、独自入試実施校の横須賀高校合格者数ナンバー1を目指します。

また横浜北部地区では昨年、生徒数の増加に対応して中川スクールを移転拡張しましたが、来春には横浜北部地区の中心地・センター南駅前に新スクールを開校します。これにより横浜翠嵐高校、地元の川和高校への合格者数躍進を図ります。



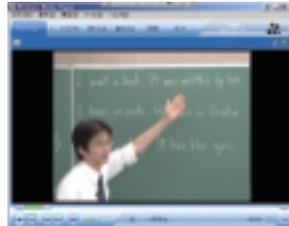
横須賀市初の校舎となる県立大学前スクール

★来年度 藤沢駅前に本部を移転

2009年度中に現在湘南台にある本部を藤沢駅北口に建設する本部ビル(地上7階、地下1階)に移転、本部機能の強化を図ります。また本部ビルには、高校部の藤沢校などを移転、高校部の拡充・躍進を実現していく体制を構築します。

★授業ビデオ配信システム e-STEPがスタート

授業映像を社内ネットワーク、およびインターネットを使って塾生対象に配信するシステムを構築し、4月よりスタートしました。予習や復習、あるいは生徒が欠席した時など、いつでも自宅でその単元を学習できるようになっています。中学部・高校部ともに授業ビデオのコンテンツを日々、拡充しています。



★「STEPパス」を中学部全スクールに設置

生徒の入退室をメールでご家庭にお知らせする「STEPパス」を中学部全スクールに設置しています。通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。お知らせ等の臨時メールを一斉にご家庭に送ることも可能です。

★高校部 STEPパスシステムを活用し、生徒とのメールによる連絡網を構築

高校部では各校舎で、STEPパスシステムを活用した生徒へのメール連絡網を設置し、より密なフォロー体制を構築しています。

★高校部 9校舎体制でさらに充実

9校舎体制で現役合格を応援する高校部は、生徒数の増加に対応した厚木校のスペース拡大など、システムの充実をはかってきました。高校部は今春、東大・京大・東工大等の国公立や私立難関大学などへの合格者数をさらに伸ばしています。

●ブルキナファソへ「栄養失調児センター」への資金援助●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、様々なボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一つで、近年はまったく雨の降らない年が続き、深刻な飢餓がー帯をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページへ <<http://www9.ocn.ne.jp/~eika/>>

高校受験ステップ

— 高校受験ステップ(中学部) —

1.専任教師制が主軸—充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師主軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業こそ重要と考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、リスニング、会話などをネイティブのコーチのもと、レベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

2.ハイタッチによる生徒指導

—1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子供の減少や競争に負けない最強の戦略と考え、スクールやクラスのマンモス化を避けつつ、神奈川県各地に教室の展開を進めています。



freeSTEP

— 個別指導専門校 freeSTEP —

2002年秋に個別指導専門校「free STEP藤沢」を独自校舎として開校、2005年春に平塚にも独自校舎を開校しました。また藤沢校・平塚校を除く高校部各校舎にも個別指導のfreeSTEPを設置しています。マンツーマンでの授業を基本とし、特定教科の集中学習を希望する人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりの異なったニーズに対応したカリキュラムで授業を進めています。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。

大学受験ステップ

— 大学受験ステップ(高校部) —

生徒参加型の少人数制の授業

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。だから、高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

最難関大学合格をめざすスーパークラス・チャレンジクラスその他、ハイレベルクラスやスタンダードクラス、さらには高校対応のクラスや個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生のニーズに応えています。高校対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。ロスの少ない合理的システムで現役合格をバックアップします。



←大学受験ステップ小田原校



本部—各スクール校舎を繋ぐ

— ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働— 教師1人にパソコン1台 ネットワーク完成

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になっています。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

スピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが出され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、約17,000人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手が届くというスピードです。

ワクワク理科実験教室 湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイドラボ”

子どもたちが理科実験を通して自然の不思議に興味をもち、科学の楽しさを実感してくれたら、と湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2008年度には6回の理科実験教室、理科実験合宿を開講しました。6月には親子理科実験教室も開催し、親子ともども理科の面白さに触れる試みを行っています。



ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シンシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)

ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)とは、音楽が大好きな生徒、教師が一体となって盛り上がる音楽祭のこと。ロックバンドやギターの弾き語り、ピアノ演奏、ブラスバンドのアンサンブルなど、演奏するジャンルは違っても「音楽が大好き」という気持ちは同じ。毎年、生徒と教師と一緒に、熱気あるステージとなります。



高校別入試ガイダンス

合格への道筋を鮮明にするためにステップが総力をあげて開催する高校別入試ガイダンス。各高校に焦点を絞って入試結果を徹底解析し、前期選抜、後期選抜、後期選抜第2次選考合格への合理的作戦などを紹介します。

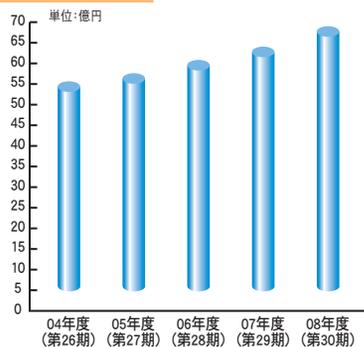


合同高校説明会

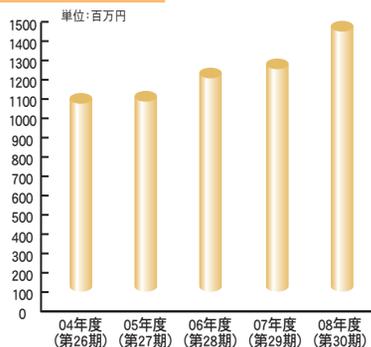
中3の生徒・保護者対象に、近隣の私立高校、および公立高校の先生に出席していただき、それぞれの高校の特徴・校風・カリキュラム・進学実績などをお話しいただいています。



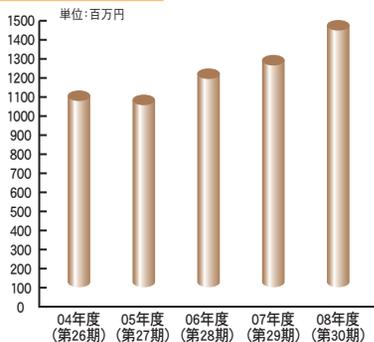
売上高



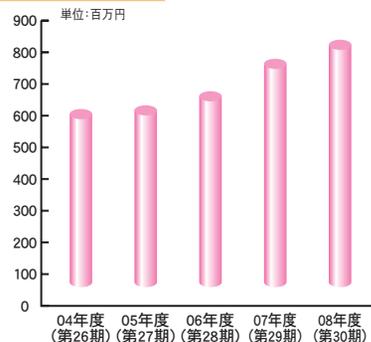
営業利益



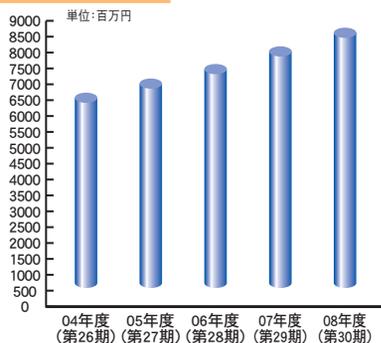
経常利益



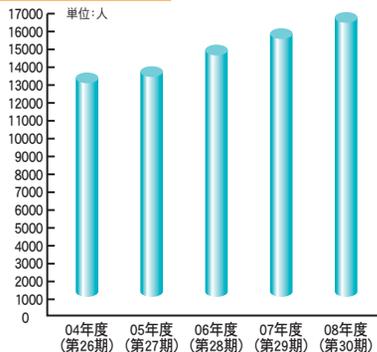
当期純利益



純資産



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

当期業績の概要

今春の高校入試におきまして、当社生徒の県内公立高校トップ高校への合格人数は過去最多の1,309名となり、その比率は当社生徒の県内公立高校合格者中41.8%を占めるなど、昨春に引き続き県内他塾を圧倒する実績を残すことができました。これにより、県内公立トップ高校への塾別合格実績におけるNo.1の座を堅持するのほもちろんのこと、トップ高校の象徴である「学力向上進学重点校」(自校作成入試問題導入校)での入試結果に抜群の強さを示したことにより、他塾との差別化をさらに推し進めることができました。当社にとって巨大な潜在的マーケットと予想される横浜地区におきまして、大学進学実績に優れる伝統高校、人気高校(いずれも自校作成入試問題導入校)への合格実績は当社の入試実力勝負における優位性を際立たせ、同地域に広く認知されるところとなってきました。さらに、当社生徒の通学圏内の高校といたしましては最難関に位置づけられる国立東京学芸大附属高校の入試におきまして、当社生徒が外部進学生としての合格実績を23名(外部中学生枠86名中。昨春実績16名)といたしましたのは、特筆すべき結果であったと自負いたしております。当社のブランド力向上に大きなプラス効果をもたらすものと期待いたしております。

しかしながら、当社の特徴でもある強みは、このような合格実績ばかりでなく、当社のバックボーンとなっております「高い技術と豊富な知識を備えたプロ教師が、日々研鑽を怠らず、一人ひとりの生徒と正面から向き合い、学習指導・進学相談に日々真摯に取り組んでいく」基本姿勢を地元地域の皆様にご支持いただくことにあると考えております。地域の生徒たちの健全な成長を学習面で応援し、その生徒たちの学力向上を通して社会に貢献するという設立以来の基本理念を堅持し、従来通り地道な活動を続けてまいりたいと願っております。

したがって、今後も決して現状に甘んじることなく、これまで以上に各教師が自己研鑽に励み、一つ一つの授業を大切にすることももちろんのこと、来春以降も改定が予想される県内公立各高校の入試システム・運用に対するきめ細かな対応に加え、塾生通学圏内にあります難関国私立高校入試に積極的に向かう受験指導体制を引き続き強化いたしてまいります。一方、当社に在籍する生徒たちが、重要単元をインターネットを通して自宅から無料で受講できる授業配信システムは、4月にテスト版の公開をスタートいたしました。その後順次コンテンツの充実を進めています。

現役高校生部門につきましては、学習塾としての強みを発揮して、教務・運営体制の見直し・改善による質的向上を図り、競争力強化に邁進いたしてあり、大学受験合格実績は着実に向上いたしてあります。

スクール数につきましては、現状、小中学生部門が86スクール、現役高校生部門は9校、個別指導部門「free STEP」3校の計98校体制となっております。

生徒数に関しましては、小中学生部門、現役高校生部門ともに学年による違いはあるものの、総体的には予想比若干プラスの順調な推移となり、当期中の平均は前年同期比約6.2%増となっております。

以上の結果、当事業年度の売上高は6,786百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は1,479百万円(前年同期比15.3%増)、経常利益は1,474百万円(前年同期比14.1%増)、当期純利益は824百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

なお、当社は経済産業省が後援し、社団法人全国学習塾協会が認定しております学習塾のサービス格付けにおきまして、全国トップレベルの評価で最高ランク(AAA)の格付けを取得しております。また、経済産業省の外郭団体であります財団法人日本情報処理開発協会と社団法人全国学習塾協会が認定するプライバシーマーク使用許諾も得てあり、改正特定商取引法をはじめとする消費者保護関連法規に全面的に賛同し、その趣旨の実現に積極的に取り組んでおります。

当社は今後も全社的にコンプライアンス(法令遵守)体制の強化をはかってまいります。

なお、社会貢献活動におきましては、アフリカのブルキナファソの「栄養失調児センター」に対する資金援助を行っております。

損益計算書 (単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減
売上高	6,299	6,786	486
売上原価	4,448	4,719	270
売上総利益	1,851	2,067	216
販売費及び一般管理費	567	587	19
営業利益	1,283	1,479	196
営業外収益	76	78	1
受取利息	3	2	△1
受取賃貸料	56	62	5
その他	16	13	△2
営業外費用	67	83	15
支払利息	9	22	12
賃貸費用	53	59	5
その他	3	1	△2
経常利益	1,292	1,474	182
特別利益	51	-	△51
固定資産売却益	38	-	△38
投資有価証券売却益	13	-	△13
特別損失	23	61	38
固定資産除却損	20	6	△14
減損損失	-	55	55
その他	2	-	△2
税引前当期純利益	1,321	1,413	92
法人税・住民税及び事業税	531	618	87
法人税等調整額	23	△30	△53
当期純利益	765	824	58

部門別売上高

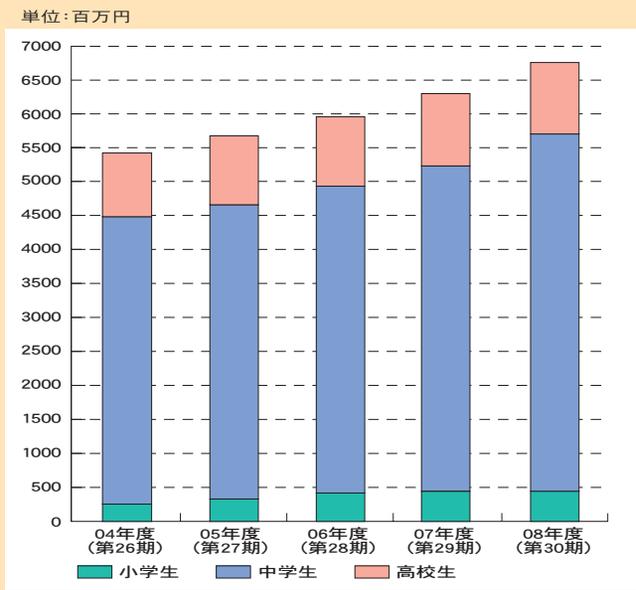
事業部門別の売上高は、次の通りであります。

小中学生部門

小中学生部門は生徒数が期中平均で7.3%の増加等により、5,709百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

現役高校生部門

現役高校生部門は生徒数が期中平均で増減はありませんでしたが、1,077百万円(前年同期比1.3%増)となりました。



部門別売上高明細表

(単位：千円)

区分	期別	前期		当期		比較増減 金額
		売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	
小中学生部門	小学生	443,342	7.0	474,943	7.0	31,601
	中学生	4,793,289	76.1	5,234,728	77.1	441,439
	小計	5,236,631	83.1	5,709,672	84.1	473,040
	現役高校生部門	1,063,060	16.9	1,077,014	15.9	13,953
	合計	6,299,692	100.0	6,786,686	100.0	486,993

貸借対照表(単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,611	1,526	△84	流動負債	1,080	1,443	362
現金及び預金	1,254	1,160	△94	一年返済予定長期借入金	344	686	342
有価証券	151	147	△3	未払金	72	63	△9
前払費用	84	86	2	未払法人税等	293	367	74
その他	120	132	11	その他	370	325	△44
貸倒引当金	△0	△0	△0	固定負債	687	1,182	495
固定資産	8,204	9,740	1,535	長期借入金	451	928	476
有形固定資産	7,541	9,073	1,532	その他	235	253	18
建物・構築物	2,878	3,117	239	負債合計	1,767	2,625	858
土地	4,417	5,886	1,469	科目	前期	当期	増減
その他	246	69	△176	純資産の部			
無形固定資産	46	48	1	株主資本	8,051	8,652	600
投資その他の資産	616	618	2	資本金	1,329	1,329	—
投資有価証券	24	15	△8	資本剰余金	1,402	1,402	—
差入保証金	434	429	△4	資本準備金	1,402	1,402	—
その他	157	172	15	利益剰余金	5,408	6,009	600
資産合計	9,816	11,267	1,450	利益準備金	137	137	—
				その他利益剰余金	5,271	5,872	600
				別途積立金	97	97	—
				繰越利益剰余金	5,173	5,774	600
				自己株式	△87	△87	—
				評価・換算差額等	△3	△11	△8
				その他有価証券評価差額金	△3	△11	△8
				純資産合計	8,048	8,641	592
				負債・純資産合計	9,816	11,267	1,450

株主資本等変動計算書(単位:百万円)

*百万円未満切捨

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
平成19年9月30日 残高	1,329	1,402	1,402	137	97	5,173	5,408
事業年度中の変動額							
剰余金の配当						△223	△223
当期純利益						824	824
株主資本以外の項目 の事業年度中の変動 額(純額)							
事業年度中の変動額 合計	—	—	—	—	—	600	600
平成20年9月30日 残高	1,329	1,402	1,402	137	97	5,774	6,009

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
平成19年9月30日 残高	△87	8,051	△3	△3	8,048
事業年度中の変動額					
剰余金の配当		△223			△223
当期純利益		824			824
株主資本以外の項目 の事業年度中の変動 額(純額)			△8	△8	△8
事業年度中の変動額 合計	—	600	△8	△8	592
平成20年9月30日 残高	△87	8,652	△11	△11	8,641

株価推移(週足)

資料ジャスダック証券取引所



株式の状況 (平成20年9月30日現在)

発行済株式の総数 15,320,000株

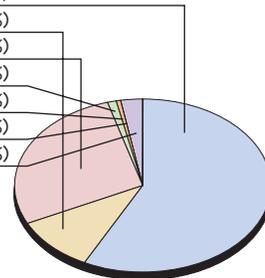
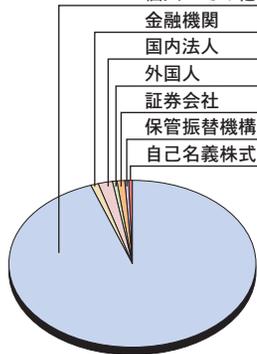
株主数 1,218名

所有者別株式分布

単位:千株

個人・その他	1,167名	(95.81%)
金融機関	11名	(0.90%)
国内法人	25名	(2.05%)
外国人	3名	(0.25%)
証券会社	10名	(0.82%)
保管振替機構名義株式	1名	(0.08%)
自己名義株式	1名	(0.08%)

個人・その他	8,850	(57.77%)
金融機関	1,557	(10.16%)
国内法人	4,251	(27.75%)
外国人	170	(1.11%)
証券会社	91	(0.59%)
保管振替機構名義株式	1	(0.01%)
自己名義株式	400	(2.61%)



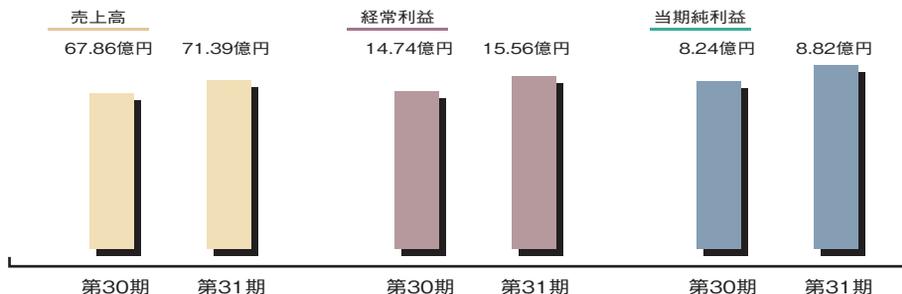
来期の見通し

長期的な少子化ないし少子社会にある学習塾業界は、基本的には厳しい環境下にあると言わざるを得ませんが、当社にとりましては開拓すべきニーズ、深耕すべきマーケットは確実に存在すると考えております。また、当事業年度の生徒募集状況は順調な実績に落ち着きましたが、昨今の政治・経済状況を鑑みますと、今後の推移につきましては予断を許しません。この不安定な状況に迅速に対応する努力を積み重ね、今後とも適正な業容の拡充に努めてまいります。

小中学生部門の来期につきましては、県立高校における独自入試出題傾向の変化、前期選抜基準・後期入試比率の継続の見直し、学区撤廃の浸透度、公立新設校の評判評価等の影響を慎重に測りつつ、さらにそれが入試選抜における県内私立高校の公立高校に対する競争力の相対的变化をもたらしつつある等の入試事情全般の変化の波をうまく捉え、他塾を凌駕する当社の教務力を十分に発揮して、より一層の合格実績の伸長、ブランド力の向上を図りたいと考えております。そのため、授業内容のさらなる高品質化とそのための人材育成を生命線として強力に推進する一方、教務上の優位性を有効に活かしながら営業基盤の地域的強化をめざしてまいります。なお来春におきましては、新たなスクール展開エリアとなります横須賀市内を中心とした複数スクールの新規開校を予定いたしております。

当社が注力している現役高校生部門は、推薦入試の拡大等による環境変化が進行中ですが、今後とも小中学生部門同様の授業内容の高品質化とそのための人材育成をより一層組織的・継続的に推し進めるため、資金と人材を合理的に投入して教務力向上に邁進し、競争力の強化に努めます。

通期の業績につきましては、売上高7,139百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益1,556百万円(前年同期比5.5%増)、当期純利益882百万円(前年同期比6.9%増)を見込んでおります。



業績予想数値は、平成20年11月11日にジャスダック証券取引所へ提出した決算短信に記載したものです。

当社の経営の基本方針

学習塾を広義での「生徒サポート産業」と考え、「子供たちを元気にする塾」をコンセプトに「楽しくて、かつ力がつく」授業展開をモットーとしております。当社は、生徒たちの健全な成長を学習面で応援し、生徒たちの学力向上を通して社会に貢献することを設立以来の基本理念といたしてまいりました。

これを実現するために、以下の5項目を経営の基本方針としております。

- (1) 学習塾専門への経営資源の集中投下
- (2) 地元神奈川県内へのスクールの集中展開
- (3) 基本となる学習サービス内容の高品質化と競争力強化
- (4) 県内公立トップ高校への進学実績No.1及び難関国私立高校への合格実績を一層向上させる
高校受験STEPの質的向上
- (5) 地元現役高校生を対象とした大学受験STEPの拡大発展

当社はもともと公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきた強みとその公立高校の変革、入試改革による魅力向上を追い風として積極的に生かし、さらに難関国私立高校への合格実績とあいまって、ブランド化戦略の深化を図っております。

現役高校生部門は、学習塾の市場の中では未だ充分に開拓されているとは言い難く、今後の伸長が見込まれる分野と認識いたしており、今後重要なセクターと位置づけております。

当面は、県内公立高校旧学区割りを目処に中規模程度の校舎を展開し、現役高校生対象の予備校ネットワークの構築を計画的に進めてまいります。今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として発展を図ってまいりたいと考えております。

商号 株式会社ステップ
 証券コード 9795
 本部 〒252-0804 藤沢市湘南台2-1-19
 TEL 0466-45-5500(代)
 事業内容 ■高校受験STEP
 小5から中3までの学習・受験指導
 ■大学受験STEP
 高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導
 スクール 神奈川県内 98スクール (平成20年10月現在)
 教材研究部 藤沢市南藤沢22-1
 印刷配送センター 藤沢市大庭5681-25-2

COMPANY DATA

創業 昭和50年1月
 設立 昭和54年9月
 資本金 13億2905万円
 代表取締役社長 龍井郷二
 社員数 651名(正社員465名、その他186名)
 営業地域 神奈川県内

株主メモ

決算期 9月30日
 定時株主総会 12月
 利益配当金 9月30日
 支払株主確定日
 1単元の株式数 1,000株

公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.stepv.co.jp>
 ただし、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社 本店
 同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 証券代行事務センター(〒168-0063)
 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施されます。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先
 これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先
 - ①証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様
 :お取引証券会社等
 - ②証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様
 :特別口座を開設する下記口座管理機関

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、右記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受付けることができるのは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

記

- ・口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
- ・同 ご照会先 (郵便物送付先)
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
- ・同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様の単元未満株式の買取請求につきましては、次のとおりのお取扱いとさせていただきますのでご了承願います。

1. 平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)
2. 平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

- フリーダイヤル
 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社 **STEP** 株主通信